

キャラクター名  
ローズ

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	何でも屋	カヴァー	何でも屋
	エンジェルハイロウ				
オプション		年齢	22	性別	女
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	37%
出自	疎まれた子	経験	永劫の別れ	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	30
感覚	6	0	1	3	4	14	(非装備時)	30
精神	2	0	0			2	戦闘移動	35
社会	0	0	0	1		1	全力移動	70

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	3		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
実験体(Dロイス)	P	N			
ローズ・リデル	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト(エンジェルハイロウ)	1	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-Lv								
光の手	1	2	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果: 感覚で振れる								
光の弓	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: (攻撃力+Lv+2)エンゲージ外								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 移動できる								
ミスディレクション	1	5	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 範囲攻撃→単体攻撃に変更								
シャッフル	1	4d10	オート	至近	自身	自動	120	
効果: 単体攻撃を同エンゲージのキャラに変更								
神の眼	1	1	リアクション	至近	自身	対決	□	
効果: 全知覚を使って攻撃を避ける								
見放された地	1		メジャー/アクション	視界	参照	自動		
効果: 光が遮断された空間を作る								
真昼の星	1		メジャー	視界	参照	自動		
効果: 遠くの星まで見える								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

私はごく普通の女の子ではない。  
見た目に異変があるわけではない。  
しかし、私には人にはない『力』を持っていた。  
この『力』を得たのはいつなのかはわからないし、どうしてあるのかもわからない。  
はつきりと『力』を使ったと自覚したのは小学校の運動会だった。

「……1位になりたい。」そう願った瞬間だった。  
気づくと私は一番前にいた。何が起ったかは誰にもわからなかった。  
でも、私にはわかった。周りが止まって見えた。  
ただ私にも何をどうしたのかはわからなかった。

その時からだったと思う、元から親には好かれている方ではなかったが、明らかに嫌悪の表情を向けてくるようになった。  
その時の私は寂しかった、悲しかった。  
しかし、私は孤独ではなかった。私には友達がいる。  
友達は私が何らかの『力』を持っている事知っている。  
だけど、皆優しくしてくれた。そのおかげか私は明るく元気な女の子として生活していた。

私は成長するに連れなるべく人前で『力』を使うことを控えた。  
それでも小さい頃からの友達は私の『力』を知っているそれでも仲良くしてくれた。  
私は『力』を人知れず人助けに使ってた。なんだかヒーローになった気分だった。